

2012年6月1日(金)

16:30~

理学部6号館

401号室

(京都大学北部キャンパス内)

■懸賞問題について■

プリントの問題から好きなだけ解答してください。すぐれた解答を、ガロア祭の最後に表彰し賞品を出します。解答提出先：理学部3号館 数学教室事務室。5月28日(月)締切



Évariste Galois  
(1811-1832)

学部生の皆さんに広く数学専攻の活動を知ってもらい、また専攻を選択する際の参考にしてもらうためのお祭りです。若くして活躍した代表的な数学者の一人ということでガロアの名前を冠することにしました。主に理学部の1~2回生を対象としていますが、もちろんそれ以外の方の参加も歓迎いたします。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

# ガロア祭

## プログラム

16:30-17:15

入谷 寛 准教授

「Puisseux 級数」

17:25-18:10

雪江 明彦 教授

「4097 は 1 に近いのか遠いか？」

18:30-19:00

懇親会、

懸賞問題優秀解答の表彰式

(茶菓を用意します)

## 講演要旨

入谷 寛 准教授「Puisseux 級数」

このお祭りのタイトルにもなっている Galois は代数方程式の解の構造を調べたことで有名です。一方で Galois より 100 年以上前に Newton は代数方程式を冪級数として解く方法を与えました。本講演ではそれを説明します。この方法で曲線の特異点解消をすることができます。

雪江 明彦 教授「4097 は 1 に近いのか遠いか？」

整数 4097 と 1 はある意味では離れた数だが、ある意味では近い整数であるとも考えることもできる。このような観点から 2 次や 3 次の不定方程式、つまり方程式で解として有理数や整数を考えるもの、の解について解説する。特にセルマーによる有名な例である不定方程式  $3x^3+4y^3+5z^3=0$  について述べる。

協力：数学セミナー（日本評論社）

主催：京都大学 大学院理学研究科 数学教室